

かがやきプラス 中学生家庭版



テーマ 創ろう あたたかい家族のふれあい

“きげんのいい大人”と“小さな至福”と

金沢大学人間社会研究域学校教育系 教授 たきぐち けいこ 滝口 圭子

お母さん、お父さん、おばあちゃん、おじいちゃん、全ての保護者の皆さま、子どもとともに過ごしていただき、ありがとうございます。私は中学生と小学生の3人の子どもがいます。子育てって楽しいけれど、本当に難しいです…。

きげんのいい大人

先日、「きげんのいい医者」(We 217号、2018年)という記事を読みました。その記事では、精神科医の川村敏明さんが「わたしの務めは、きげんのいい医者をやるってことだけです。医者が張りきると、ちょっと危ない…」とおっしゃっていました。そして、川村さんにインタビューをされた斎藤道雄さんが「患者を治そう治そうと張り切る医者は、治せなければふきげんになる。ふきげんな医者こそは、回復を“妨げる要因”の最たるものではないか」と述べておられました。精神科医のみならず、教師や保育者、そして保護者など、子どもの周りにいる大人にも当てはまる部分があるのかもしれないと思った次第です。きげんのいい大人が、周囲により多く存在していることが、子どもの成長を促す(せめて妨げない)ということは、何だかありそうだなと思えます。

族でありたいと思っらっしゃることと思います。私もそうなのですが、子どもを感情的に怒ってしまい(叱るではなく)、深く落ち込んで反省するというのが、(もちろん)あります。常に「きげんのいい大人」でいられるとは限りませんよね…。



あたたかい家族、でいたいけれど…

さて、本紙面のテーマでもあるあたたかい家族のふれあい。きっと、多くの皆さまが、あたたかい家

小さなあいさつと小さな至福

そんな毎日のなか、(何とか) 続けているのは、「ごめんなさい」「ありがとう」「おはよう」「おやすみなさい」「いただきます」「ごちそうさまでした」「いってきます」「いってらっしゃい」を、丁寧に伝えること。嫌な気持ちになるようなことがあったとしても、

翌日の「おはよう」の一言で、ずっと気持ちが静まることって、ないでしょうか。そして、子どもたちの「ってきます」に、「いってらっしゃい、車に気をつけて」と伝える時の、瞬間の至福。小さな小さな至福ですが、その幸せに感謝できる日々を送りたいと願っています。

もしよろしければ、『最後だとわかっていたら』（ノーマ コーネット マレック著、佐川睦訳、サンクチュアリ出版、2007年）という本をひもといてみてください。小さな至福に気づくことができる1冊です。



大人と対等に語り合う

青年期の入り口の中学生。心身の変化に戸惑い、イライラしやすくなっている時期だといわれます。一方で、社会のことや世界のことを知りたい、自分の意見を聞いて欲しい、大人と対等に語り合いたいという気持ちも大きくなっているような…。保護者との会話が減少する（場合が多い）この時期ですが、
だからこそ、子どもがぼそっと口にした一言を大事

にできるといいのかな。できれば、子どもの将来の夢についても、長い時間でなくともよいので、ともに語り合いたいところです。



子どもたちは、お母さん、お父さん、保護者の皆さんが大好き

子どもたちは、お母さん、お父さん、保護者の皆さんのことが大好きです。誰よりも保護者の皆さんに「わかって欲しい」と思っています。もしかしたら、そのことを、上手に伝えることができないかもしれないけれど…。私たちは、常に「きげんのいい大人」でいられるとは限らない。けれども、そうあるために何ができるのだろうと考えることは、できるのかもしれません。いい時悪い時、笑ったり泣いたりを行ったり来たりしながら、らせんのように続く子育て。同じ場所をぐるぐる回っているだけのように思えることもあるけれど、遠くから見たら、らせん1本分、上昇しているのかもしれない。全てのお子さまと保護者の皆さまが、毎日をあたたかく幸せに過ごせますように、心から願っています。

我が家の「創ろう あたたかい家族のふれあい」

私には中学、高校に通う子どもが2人います。私が小さい頃の経験から毎朝、子どもが出かける時は必ず玄関に出て、笑顔で「いってらっしゃい」と見送ることを心がけています。私の高校生の娘が中学の卒業式にくれた手紙で「母さんと言ひ合いになったときも、学校に出かける朝は、必ず玄関で笑顔で見送ってくれて嬉しかった。安心して学校に行けた。」と書いてあり嬉しかったです。これからも続けていきます。(中学生、高校生保護者)

ほとんどの親は「勉強なさい!」「歯みがきした?」「早く寝なさい!」などの言葉を感情に乗せて言うと思います。そうすると子ども達は親の言葉に耳を塞ぎ、距離を置くようになると思っています。そのため、しつけの言葉の数以上の面白いことを沢山言って普段はいっぱい一緒に笑って身近に感じてもらい、しつけのときにはしっかり伝わるよう、親の言葉に耳を傾けてもらえるようにしています。

(小学生、中学生保護者)

いつもは帰宅後から寝るまでずっと喋りっぱなしの娘が今日は何にも喋らない。どうしたのだろう。これまでの会話でおおよそ想像はつくが断定もできない。してあげられることもあまり無いが、どんな辛いことも話してしまえば楽になる。「話す」ことは辛いことを「離す」ことなどと独り言を言ってみた。ポツポツ出てくる娘の言葉。大人から見れば小さな話ばかり。でも辛かったのだろうね。話して「離し」たらまた、やかましい娘が帰ってきた。(中学生保護者)

平成30年度「家庭で取り組む8つのすすめ実践例募集」より

家庭教育「8つのすすめ」実践セミナー開催報告



こころ元気配達人/
こころ元気研究所 所長
かまた びん
鎌田 敏 氏

7月27日(土)、7月にオープンしたばかりの長土堀青少年交流センターにて実践セミナーを開催しました。初めに、「8つのすすめ」の実践事例「親子でゲームソフトを作ろう!小学生パソコン教室」について、伏見台小学校父親会/パパーズクラブより発表がありました。次年度より本格実施されるプログラミング教育は保護者にとっても未知の世界であり、親子で取り組んだ実践は、大変興味深い内容でした。

次に、鎌田敏氏のご講演がありました。「こころ元気な大人が子どもの未来を築く!」と題して、「8つのすすめ」に沿って、**コミュニケーションをとる、傾聴する、大人を通して子ども達に習慣がつくことを意識する**等、子どもを育む時に大切にしていきたいことの話がありました。途中で何度かペアでのミニワークをはさみ、「コミュニケーションで会場の空気が良くなること」「自分のことをわかろうと聴いてくれる人は心のサポーターであること」を身をもって実感することができ、これからの子育ての実践につながっていくように感じられました。

家庭教育に関する指針 「家庭で子どもを育むための8つのすすめ」

家庭は教育の出発点であり、子どもの心のよりどころです。子どもが安らぎを感じながら健やかに成長できるよう、かつて大人自身が家族のふれあいの中から教わった「大切なこと」を、子どもに伝えましょう。

1 持ち続けよう
子どもとともに 学ぶ姿勢

子どもががんばったことは大いにほめて、お手伝いや学習、読書などに自ら取り組む意欲を伸ばすとともに、大人も「気づき」や「学び」を得る機会を持ちましょう。

2 きちんと守ろう
社会のルール 大人が手本

「子は親を映す鏡」、大人の行動を見ています。自らの行いを通じて、礼儀やマナー、言葉づかいを教え、良くないことはきちんと叱って善悪の判断ができるようにしましょう。

3 声かけよう
笑顔であいさつ 朝一番

自分からあいさつすることで会話が生まれ、家族の絆が強くなるとともに、地域の輪も広がります。笑顔のあいさつに心がけましょう。

4 創ろう
あたたかい家族のふれあい

子どもに笑顔で接し、心によりそい共感すると、子どもは安心感を持ち、前向きに考えることができます。家族のふれあいや会話を大切にしましょう。

5 大切にしよう
思いやりの心 すべての命

子どもが受けた思いやりは、子ども自身の思いやりの心、ゆずりあいの心につながります。自分や他者の生命の尊さを伝えましょう。

6 伝えよう
心のこもった「ありがとう」

「ありがとう」と言われたうれしさは、人やものに感謝する心を育みます。日頃から、子どもに感謝の言葉を伝えましょう。

7 育もう 子どもの健康
「早寝 早起き 朝ごはん」

規則正しい生活リズムと食習慣は、一日のやる気と元気の源です。基本的な生活習慣と外遊びや運動で、たくましい心と体を育みましょう。

8 支えよう
子どもの夢と可能性

家族は子どもの一番の応援団です。いろいろな体験を通してチャレンジ精神やあきらめない心を育み、夢に挑戦する姿勢を温かく見守りましょう。

家庭教育の相談窓口の紹介

金沢市教育プラザ 研修相談センター 子ども総合相談センター	①おはなし電話	子どもの発達や学校生活、子育てなどに関する相談に応じます。 (平日9:00～21:00 土・日・祝日9:00～17:00)	Tel.076-243-0874
	②子ども専用 相談ダイヤル	子ども専用の通話料無料の相談電話です。 (平日9:00～21:00 土・日・祝日9:00～17:00)	Tel.0120-92-8349
	③いじめ電話相談	いじめに関する悩みごとについて、電話でお応えします。 (平日9:00～21:00 土・日・祝日9:00～17:00)	Tel.076-243-1019
金沢市児童相談所	④虐待通報	子どもの虐待に関する通報を24時間体制でお受けします。	Tel.076-243-8348
	⑤児童相談所	18歳までが対象です。相談内容は養護、保健、心身障害、非行、育成、虐待等です。(平日9:00～17:45)	Tel.076-243-4158
金沢市児童家庭相談室	経済的に困っている家庭の子どもに関する相談や、ひとり親家庭の相談に応じます。 (平日9:00～17:45)		Tel.076-220-2422
金沢市家庭教育サポーター	身近な地域の家庭教育サポーターが相談に応じます。 (連絡先 金沢市教育委員会生涯学習課 平日9:00～17:45)		Tel.076-220-2441

いつでもどこでも家庭教育の情報が手に入るホームページ「かなざわ家庭教育サイト」を開設しています。

詳しくは、「金沢 家庭教育」で検索！

金沢 家庭教育

URL
https://www4.city.kanazawa.lg.jp/39026/katei_1.html



〒920-8577 金沢市広坂 1-1-1
金沢市教育委員会生涯学習課
Tel.076-220-2441 Fax.076-220-2488
E-mail syougaku@city.kanazawa.lg.jp